

平成23年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月22日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 和井田製作所

コード番号 6158 URL <http://www.waida.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎年男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長兼法務室長 (氏名) 名和芳治

TEL 0577-32-0390

四半期報告書提出予定日 平成22年10月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第1四半期の連結業績(平成22年6月21日～平成22年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第1四半期	926	205.2	△62	—	△67	—	△153	—
22年6月期第1四半期	303	△74.3	△178	—	△163	—	△258	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第1四半期	△23.10	—
22年6月期第1四半期	△38.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年6月期第1四半期	7,409	—	3,843	—	51.9	579.85
22年6月期	7,217	—	3,985	—	55.2	601.21

(参考) 自己資本 23年6月期第1四半期 3,843百万円 22年6月期 3,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	7.00	7.00
23年6月期	—	—	—	—	—
23年6月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年6月21日～平成23年6月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,838	147.0	76	—	68	—	82	—	12.52
通期	5,952	63.0	342	—	324	—	345	—	52.12

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年6月期1Q 7,028,000株 22年6月期 7,028,000株

② 期末自己株式数 23年6月期1Q 399,242株 22年6月期 399,242株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年6月期1Q 6,628,758株 22年6月期1Q 6,628,758株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、国内の景気刺激策等により継続的な持ち直しや自律的回復の動きがみられるものの、為替問題や欧米経済の減速が懸念され依然として厳しい状況で推移いたしました。

工作機械業界におきましても、内需では受注水準が2010年5月からほぼ横ばいと停滞気味に推移しておりますが、外需では中国を中心としたアジア地域において電子機器関連産業や自動車産業が高水準に推移し、アジア地域がけん引役として回復傾向が続いております。工作機械業界全体の月次受注総額は2010年4月から5ヵ月連続で800億円台を示し、2010年8月では859億円を記録し、堅調な回復傾向が続いております。

このような状況の下、当社グループは、成長戦略として海外市場展開を具体化し、アジア地域を中心に積極的な営業活動を行いました。また、当社グループのコア技術を活かした特定ユーザーとのコラボレーションを継続的に行い、新事業の創造に努めてまいりました。さらに、売価の改善、変動費比率及び固定的経費の圧縮並びに生産革新運動の推進等を継続的に行うことにより、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当社グループは、当第1四半期連結累計期間において、売上高は926百万円(前年同期比205.2%増)となりましたが、本格的な回復に至らず、営業損失は62百万円(前年同期は178百万円の営業損失)、経常損失は67百万円(前年同期は163百万円の経常損失)となり、四半期純損失は投資有価証券評価損100百万円等から153百万円(前年同期は258百万円の四半期純損失)となりました。

品目別に業績を示すと、次のとおりであります。

(金型関連研削盤)

国内市場において、継続的な回復基調のもと緩やかに増加し、海外市場においては、中国・アジア地域を中心に前年同期を大きく上回り堅調に推移いたしました。この結果、売上高は561百万円(前年同期比319.7%増)となりました。

(切削工具関連研削盤)

国内市場を中心に継続的な自動車関連製造業におけるスポット需要等から前年同期を大きく上回り堅調に推移いたしました。この結果、売上高は221百万円(前年同期比634.4%増)となりました。

(その他の機械)

主として半導体部材メーカーの継続的な需要が得られず、売上高は10百万円(前年同期比72.5%減)となりました。

(アフターサービス)

アフターサービス(有償修理)及びメンテナンス部品については、継続的な回復基調を受けて、売上高は132百万円(前年同期比28.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ191百万円増加し、7,409百万円となりました。これは、主として現金及び預金が123百万円、原材料及び貯蔵品が270百万円増加し、受取手形及び売掛金が176百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ333百万円増加し、3,565百万円となりました。これは、主として短期借入金が310百万円増加し、長期借入金が101百万円減少したことなどによります。

なお、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ141百万円減少し、3,843百万円となりました。これは、主として利益剰余金が199百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ122百万円増加し、969百万円となりました。当第1四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、51百万円(前年同四半期は59百万円の減少)となりました。増加の主な内訳は、投資有価証券評価損100百万円及び売上債権の減少181百万円等であり、減少の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失151百万円及びたな卸資産の増加226百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、20百万円(前年同四半期は44百万円の増加)となりました。これは主として、有形固定資産の売却による収入23百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、162百万円(前年同四半期は121百万円の減少)となりました。これは主として、短期借入れによる収入400百万円及び長期借入金の返済による支出101百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期通期の業績予想につきましては、平成22年7月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(棚卸資産の評価方法)

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,410,127	1,287,048
受取手形及び売掛金	1,631,122	1,807,748
商品及び製品	40,238	70,060
仕掛品	912,486	926,231
原材料及び貯蔵品	721,107	450,904
その他	139,613	79,982
貸倒引当金	△730	△685
流動資産合計	4,853,966	4,621,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	936,275	956,152
機械装置及び運搬具(純額)	240,634	257,856
土地	890,892	898,464
その他(純額)	40,831	42,437
有形固定資産合計	2,108,633	2,154,911
無形固定資産	6,246	6,989
投資その他の資産		
投資有価証券	276,585	308,219
その他	166,786	129,268
貸倒引当金	△3,149	△3,203
投資その他の資産合計	440,222	434,284
固定資産合計	2,555,102	2,596,185
資産合計	7,409,068	7,217,475
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	433,662	334,691
短期借入金	710,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	425,142	425,142
未払法人税等	3,662	10,087
その他	263,694	241,249
流動負債合計	1,836,161	1,411,171
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	913,380	1,014,582
退職給付引当金	71,270	61,635
長期未払金	139,740	139,740
その他	4,802	5,074
固定負債合計	1,729,192	1,821,031
負債合計	3,565,354	3,232,203

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	881,244	881,244
利益剰余金	2,513,733	2,713,286
自己株式	△310,636	△310,636
株主資本合計	3,927,641	4,127,194
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,350	△65,063
為替換算調整勘定	△87,277	△76,857
評価・換算差額等合計	△83,927	△141,921
純資産合計	3,843,714	3,985,272
負債純資産合計	7,409,068	7,217,475

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月21日 至平成21年9月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年9月20日)
売上高	303,485	926,217
売上原価	190,330	606,570
売上総利益	113,154	319,646
販売費及び一般管理費	291,395	382,197
営業損失(△)	△178,241	△62,550
営業外収益		
受取利息	338	218
受取配当金	3,815	4,301
受取賃貸料	1,373	668
助成金収入	13,339	2,235
受取保険金	10,413	—
その他	1,566	2,204
営業外収益合計	30,846	9,628
営業外費用		
支払利息	14,554	13,230
為替差損	1,323	1,367
その他	244	244
営業外費用合計	16,122	14,842
経常損失(△)	△163,517	△67,764
特別利益		
固定資産売却益	—	16,007
貸倒引当金戻入額	101	9
特別利益合計	101	16,016
特別損失		
投資有価証券評価損	93,407	100,048
その他	—	24
特別損失合計	93,407	100,073
税金等調整前四半期純損失(△)	△256,824	△151,821
法人税、住民税及び事業税	1,497	1,330
法人税等調整額	△1	—
法人税等合計	1,496	1,330
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△153,151
四半期純損失(△)	△258,320	△153,151

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月21日 至平成21年9月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△256,824	△151,821
減価償却費	49,518	42,266
退職給付引当金の増減額(△は減少)	526	9,634
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△101	△9
受取利息及び受取配当金	△4,153	△4,519
支払利息	14,554	13,230
投資有価証券評価損益(△は益)	93,407	100,048
固定資産売却損益(△は益)	—	△16,007
売上債権の増減額(△は増加)	110,777	181,948
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,924	△226,636
仕入債務の増減額(△は減少)	19,382	63,628
その他の資産の増減額(△は増加)	28,484	△51,318
その他の負債の増減額(△は減少)	18,923	9,424
小計	△43,426	△30,132
利息及び配当金の受取額	4,033	4,464
利息の支払額	△17,426	△15,866
法人税等の支払額	△2,919	△9,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	△59,738	△51,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△5,197	△2,887
有形固定資産の売却による収入	—	23,580
投資有価証券の取得による支出	△616	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,186	20,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	400,000
短期借入金の返済による支出	—	△90,000
長期借入金の返済による支出	△121,182	△101,202
リース債務の返済による支出	—	△271
配当金の支払額	—	△46,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,182	162,124
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,121	△8,551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△141,855	122,779
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,401	846,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,651,546	969,127

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成22年6月21日 至 平成22年9月20日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年6月21日 至 平成21年9月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年6月21日 至 平成22年9月20日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年6月21日 至 平成21年9月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年6月21日 至 平成22年9月20日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年6月21日 至 平成21年9月20日)

	中国	アジア地域 (中国を除く)	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	25,572	14,814	6,382	46,769
II 連結売上高(千円)	—	—	—	303,485
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.4	4.9	2.1	15.4

(注) 1 海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2 国または地域の区分方法及び各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

中国 …………… 中国

アジア地域(中国を除く) …… 台湾、韓国、東南アジア地域、南アジア地域等

その他の地域 …………… 米国、ヨーロッパ地域、アフリカ地域等

当第1四半期連結累計期間(自平成22年6月21日 至 平成22年9月20日)

	中国	アジア地域 (中国を除く)	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	346,740	94,506	6,048	447,295
II 連結売上高(千円)	—	—	—	926,217
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	37.4	10.2	0.7	48.3

(注) 1 海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2 国または地域の区分方法及び各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

中国 …………… 中国

アジア地域(中国を除く) …… 台湾、韓国、東南アジア地域、南アジア地域等

その他の地域 …………… 米国、ヨーロッパ地域、アフリカ地域等

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成22年6月21日 至 平成22年9月20日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報は記載しておりません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社グループは、「3. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報」に記載のとおり、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、生産、受注及び販売の状況につきましては品目別に記載しております。

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
金型関連研削盤	540,838	362.3
切削工具関連研削盤	204,784	651.6
その他の機械	6,180	18.1
アフターサービス	132,771	128.8
合計	884,575	278.3

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
金型関連研削盤	659,558	298.4	905,703	278.2
切削工具関連研削盤	1,139,875	245.7	1,375,375	296.2
その他の機械	25,200	28.4	62,700	111.6
アフターサービス	132,771	128.8	—	—
合計	1,957,405	223.3	2,343,778	277.0

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
金型関連研削盤	561,645	419.7
切削工具関連研削盤	221,800	734.4
その他の機械	10,000	27.5
アフターサービス	132,771	128.8
合計	926,217	305.2

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
植田機械株式会社	36,608	12.1	—	—
宮脇機械プラント株式会社	35,800	11.8	—	—
三井物産マシンテック株式会社	31,915	10.6	—	—
コマツ工機株式会社	31,204	10.3	—	—
R C S 技研株式会社	—	—	129,853	14.0

(注) 当第1四半期連結累計期間の植田機械株式会社、宮脇機械プラント株式会社、三井物産マシンテック株式会社、コマツ工機株式会社及び前第1四半期連結累計期間のR C S 技研株式会社については、当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。